

各位

MediciNova, Inc.
代表取締役社長兼 CEO
岩城 裕一
(コード番号: 4875 大証ヘラクレス)
問合わせ先 東京事務所代表 副社長
岡島 正恒
電話番号 03-3519-5010
E-mail info@medicinova.com

(参考情報)アヴィジェン社の株主に対する選択行使書の行使期限および合併の概算対価の最新情報に関するお知らせ (日本語抄訳)

2009年12月9日 米国 サンディエゴ発 - メディシノバ (MediciNova, Inc.) (米国カリフォルニア州 サンディエゴ、代表取締役社長兼 CEO: 岩城裕一) は、当社及びアヴィジェン社の合併に際し、アヴィジェン社の株主に対する選択行使書(現金もしくは転換可能有価証券)の行使期限および合併の概算対価の最新情報に関して、米国において共同のプレスリリースを発表いたしましたので参考情報としてお知らせいたします。当社は同内容を 2009年12月9日に最新の報告書として **Form 8-K** を米国証券取引委員会 (SEC)に提出いたしました。以下の抄訳は、あくまで参考資料であり、正式には、上記の **Form 8-K** をご覧下さい。

(プレスリリースの日本語抄訳)

メディシノバは、当社及びアヴィジェン社の合併に際し合併対価の選択を行うアヴィジェン社の株主が、適式に作成された選択行使書を、アヴィジェン社臨時株主総会当日である 2009年12月17日午後5時 (米国東部標準時間) (行使期限) までに、アメリカン・ストック・トランスファー・アンド・トラスト・カンパニー (American Stock Transfer & Trust Company, LLC) に提出しなければならないことを、アヴィジェン社と共同でお知らせいたします。

銀行、ブローカーを初めとする仲介人名義により、アヴィジェン社株式を保有する皆様には、前述の行使期限よりも前に、独自の行使期限が設定されている場合があります。このようなアヴィジェン社の株主は、仲介名義人から提供される資料等をよくお読みになったうえで、適用となる行使期限に従ってください。

本合併契約のもとに定められ、アヴィジェン社の株主に送付されている両社共同の招集通知に詳述されるとおり、アヴィジェン社の株主は、株式の対価として(1)現金、(2)当社の発行する転換可能有価証券、または(1)と(2)の組み合わせを選ぶ権利を保有しています。ただし、行使期限内に選択を行わない株主、または選択行使書を行使期限までに、アメリカン・ストック・トランスファー・アンド・トラスト・カンパニーに提出できなかった株主は、合併対価を受領する方法を選択することはできません。このような株主には、現金支払対価の 50%と同額の現金と、50%と同額の額面の転換可能有価証券を受領する権利が付与されます。

また、2009年8月21日付のプレスリリースでお知らせしておりますとおり、アヴィジェン社の株主が受領する株式あたりの支払対価は、当初、合併完了時に支払われる第1回支払対価を約1.19米ドル、2010年6月30日頃に支払われる第2回支払対価を約0.05米ドルとし、合計約1.24米ドルと見積もっておりました。しかし、合併契約及び招集通知に述べておりますとおり、この支払額は、調整される場合があります。アヴィジェン社と当社とは、上記の開示後、約40万米ドルの追加の負債を認識いたしました。この負債額は、第2回支払対価から差し引かれることになっているため、その結果、現在、第2回支払対価の概算を、約0.04米ドルと見積もっております。第2回支払対価の減少にかかわる事項はすべて、2010年6月30日に行われる、当社とアヴィジェン社の株主の代表による話し合いの対象になります。したがって、かかる話し合いが結論に至るまで、第2回支払対価の支払いが延期される可能性があります。

アヴィジェン社の株主は、すでに登録株主に送付済みの選択行使書の用紙を、追加でアメリカン・ストック・トランスファー・アンド・トラスト・カンパニー（電話番号1-877-248-6417 または 1-718-921-8317）に請求することができます。また、選択行使書は、アヴィジェン社のホームページ（www.avigen.com）からダウンロードすることもできます。銀行、ブローカーを初めとする仲介人名義によりアヴィジェン社株式を保有する皆様は、追加の選択行使書の請求、または選択の方法について説明を受けたい場合には、これらの仲介人名義人にご連絡ください。

さらに、アヴィジェン社の株主は、本合併契約のもとに定められ、アヴィジェン社株主に送付されている両社共同の招集通知に詳述されるとおり、普通株式1株について1個の「臨時の支払の受領を可能にする権利証」(Contingent Payment Right (“CPR”)) を与えられます。この権利の保有者は、合併成立後に一定の事由が生じた場合に、アヴィジェン社が受領すべき金額を、株数による比例配分で受領することができます。

本合併は、当社の株主及びアヴィジェン社の株主の承認を受け、その他の商慣習上の条件を満たした場合、2009年12月中に成立する見込みです。

以上

メディシノバ(MediciNova, Inc.)は、日本内外の国際的製薬企業との提携により有望な低分子化合物を導入し、様々な疾患領域の新規医薬品の開発を行う公開製薬企業です。弊社のパイプラインには、喘息急性発作、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、多発性硬化症、喘息、間質性膀胱炎、固形癌、全般性不安障害、切迫早産、尿失禁および血栓症など、多様な疾患の治療を目的とする臨床段階の化合物が揃っております。弊社詳細につきましては <http://www.medicinova.jp> をご覧下さい。メディシノバの所在地はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴ市ラ・ホイヤ・ヴィレッジ・ドライブ 4350、スイート 950（電話 1-858-373-1500）です。

このプレスリリースには、1995年米国民事証券訴訟改革法(The Private Securities Litigation Reform Act of 1995)に規定される意味での「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、製品候補の治療法としての新規性および効能を実証する臨床試験に関する記述、既存または将来の臨床試験の計画や目的および製品開発に関する計画または目的に関する記述などが含まれます。このような記述には、臨床試験の結果、現段階の臨床試験の結果が必ずしもその後の製品開発の行方を確定するものではないこと、将来の臨床試験のタイミング、費用、計画など、臨床試験、製品開発および商品化に付随するリスクや不確定要素および当社が米国証券取引委

員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスクや不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつかの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものであります。したがって、「将来の見通しに関する記述」はその時点における当社の状況を述べているにとどまります。当社には、この記述に関して、情報の修正または更新を行う義務はありません。